

(法第28条第1項関係様式)

平成26年度事業報告書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日)

特定非営利活動法人 みやざき教育支援協議会

1. 事業の成果

私たちの活動の目的は、教育の情報化に関わる調査研究と多忙化する教育現場への支援です。従来からの教育 ICT 研修会に加えて、今回、はじめて教育 ICT フォーラムを実施し、多くの関係者に集まってもらいました。研修の成果は着実に積み重ねられつつあります。

教育現場への支援は、ICT 支援員の派遣をはじめてとして、全県立学校で業務処理に使われている「スクールプロ」のサポートを開発企業と連携して取り組みました。システムの利活用にはサポートが必須であることを改めて認識しました。

もうひとつの目的は、「創る教育」です。研修や支援を通して、その成果をいかに教育活動に活かしていくかです。教職員だけでなく、児童生徒、保護者、地域住民も一緒になって、教育を創り上げていくことが求められるようになりました。そのために研修の内容を義務制諸学校の実践報告へと広げています。

文化交流事業として、平成26年度も宮崎公立大学ネットワーク研究室との共同研究「高校生による聞き書き地域防災ーぴ〜すけハイスクール」を実施しました。今回は新たに他の研究班と合同の報告会を「ふれあいぴ〜すけ」として実施しました。地域住民や障がい者と知り合い、つながりの楽しさや喜びを実感しました。

広報活動については「メスカジャーナル」を2回発行し、各関係機関に送付しました。Web サイト更新も含めてまだ不十分ではありますが、少しずつ本会の認知度は広がっています。

事業拡大にともなって、事務所を宮崎公立大学ネットワーク研究室から、宮崎市霧島4丁目に移動しました。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 教育の情報化を図る調査研究活動

ア 教育 ICT 研修会 (成果については Web サイトに掲載)

- 第1回 5月23日(金)宮崎公立大学 参加者17名
「教科情報とは」山口 将人 氏 (宮崎西高等学校)
- 第2回 8月22日(金)宮崎大宮高等学校生物室 参加者10名
「ICT 機器を使ったカイコの解剖授業」黒木 和樹 氏 (宮崎大宮高等学校)
- 第3回 11月21日(金) 宮崎公立大学 参加者9名
「小学3年生の ICT 活用実践」佐野 工 氏 (宮崎市立池内小学校)
- 第4回 3月14日(土) 宮崎公立大学 参加者62名
兼九州 ICT 教育支援協議会研修会

第1号議案

- みやざき教育 ICT フォーラム 6 月 14 日(土) 宮崎公立大学 参加者 38 名
「小学校における普通の授業での ICT 活用事例」
海部 義人 氏 (ダイワボウ情報システム(株))
「ICT 教育を生かして魅力的な高校国語の授業がしたい
～教職大学院まで行ってきました～」
橋口 和歌子 氏 (都城西高等学校)
「宮崎工業 高等学校での ICT 活用授業の実践報告」
釘崎 隆史 氏 (都城工業高等学校)
- イ JICA 案件化調査コンサルタント (継続事業)

② 教育現場の情報化を支援する活動

- ア ICT 支援事業 (宮崎大宮高校)
 - 実施時期 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月
- イ 事務処理システム「スクールプロ」サポート (県立学校全校)
 - 実施時期 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月
- ウ Web サイト支援事業 (事務職員協会、高千穂高等学校)
 - 実施時期 平成 26 年 4 月～平成 26 年 12 月

③ 文化交流事業

- ア 高校生による聞き書き地域防災「ぴ～すけハイスクール」(連携事業)
 - 実施時期 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月
 - 実施内容 第 1 回ぴ～すけハイスクール・カフェ (宮崎公立大学) 34 名
第 2 回ぴ～すけハイスクール・カフェ (宮崎公立大学) 44 名
第 3 回ふれあいぴ～すけ (宮崎公立大学) 62 名
 - 成果物 冊子『語り継ぐ災害体験』(高校生による聞き書き地域防災)
- イ 広報活動「情報誌メスカジャーナル」
 - 発行時期 平成 27 年 10 月 1 日、平成 27 年 12 月 20 日
 - 実施内容 No.3「特集みやざき教育 ICT フォーラム」
No.4「特集 JICA バングラデシュ教育支援」